

# 令和3年度 瓜生小学校 School Plan

1. 教育理念  
自立・協働・創造

2. 学校の教育目標  
社会の中で自分らしく生きるための資質・能力を育てる

3. 目指す学校像  
すべての児童が安心して学べる学校

4. 目指す児童像

- 自立:変化の激しい社会を生き抜くための確かな学力・突破力のある子
- 協働:今後起こりうる困難な課題に対しても互いの多様性・違いを認めて協働して立ち向かう子
- 創造:将来にわたって地域を愛し魅力ある地域を創造する子



5. 重点目標と具体的取組および評価

	重点目標、3理念との関連	具体的な取組	評価	
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業における自己表現の場の設定</li> <li>● 考えを交流する場の設定と交流のための技能の習得</li> <li>● 興味に応じた学習の発表の機会の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の意見を発表したり友達の意見を聞いたりするのが楽しいと答える児童 80%以上</li> <li>● 授業がよく分かると答える児童 80%以上</li> </ul>	
	自立した学習習慣・読書習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎的・基本的な知識・技能の定着【自立】</li> <li>● 家庭学習・読書習慣の確立【自立】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個に応じた指導の工夫</li> <li>● 休み明けテストの実施</li> <li>● 自分のためにする家庭学習の習慣作り</li> <li>● 読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進んで家庭学習に取り組みたと答える児童 80%以上</li> <li>● 読書冊数が年間 30 冊以上の児童 80%以上</li> </ul>
豊かな心	人権意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人権教育の日常化の推進【自立】</li> <li>● 多様性を認める心の育成【創造】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人権目標の掲示と自己評価の実施(2ヶ月に1回)</li> <li>● 構造的グループエンカウンターを取り入れた活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校へ通うのが楽しいと感じる児童 90%以上</li> <li>● みんなで何かをするのが楽しいと答える児童 85%以上</li> <li>● クラスの人から認められたり励まされたりすることがあると答える児童 80%以上</li> </ul>
	自他を大切にす心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己有用感の育成【協働】</li> <li>● 他者理解・自己理解のための活動【協働】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行事の後や帰りの会等で相互に認め合う場の設定</li> <li>● 異年齢集団活動の実施</li> </ul>	
たくましい体	自ら生活習慣を確立できる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の睡眠課題に気づき、改善し実践する力の育成【自立】</li> <li>● テレビ・メディアとうまく付き合う力の育成【自立】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ぐっすりウィーク」の設定(年2回)</li> <li>● 「メディアコントロール週間」の設定(年3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の睡眠課題について、改善・実践できる児童 80%以上</li> <li>● 「メディアコントロール週間」にしっかり取り組むことができる児童・家庭85%以上</li> </ul>
	豊かなスポーツライフの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭でできる体力向上【自立】</li> <li>● コロナ禍での体づくり【創造】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「体力アップカード」の取組</li> <li>● コロナ禍でできる遊びの提案</li> </ul>	
家庭・地域外部との連携	『社会に開かれた教育課程』の実現(学校の教育目標の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふるさと学習の推進(総合的な学習の時間の中で)【創造】</li> <li>● 地域人材の活用</li> <li>● 積極的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域教材を生かした総合的な学習の単元デザイン</li> <li>● 地域人材の活用と地域に貢献する活動の実施</li> <li>● ホームページのリニューアルと更新(週1回以上)</li> <li>● 各種メディアを通じた積極的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域に魅力を感じる・地域を大切にしようと思う児童それぞれ 90%以上</li> <li>● 学校の教育目標実現に向けた取組・成果を肯定的に評価する保護者80%以上</li> <li>● 学校の地域参画・地域貢献・情報発信を肯定的に評価する声</li> </ul>
業務改善	ワークライフバランスの実現(児童のため、家族のため、自分のため)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勤務時間シフト制の活用</li> <li>● ICT 活用による業務の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勤務時間シフト表を利用した労務管理</li> <li>● Desknet's、Microsoft Teams を利用した情報共有・共同作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間外勤務が月45時間超の教職員毎月 20%以内(80時間超 0%)</li> <li>● ワークライフバランスの大切さを理解し、教職員それぞれが個に応じた業務改善に取り組む姿</li> </ul>